

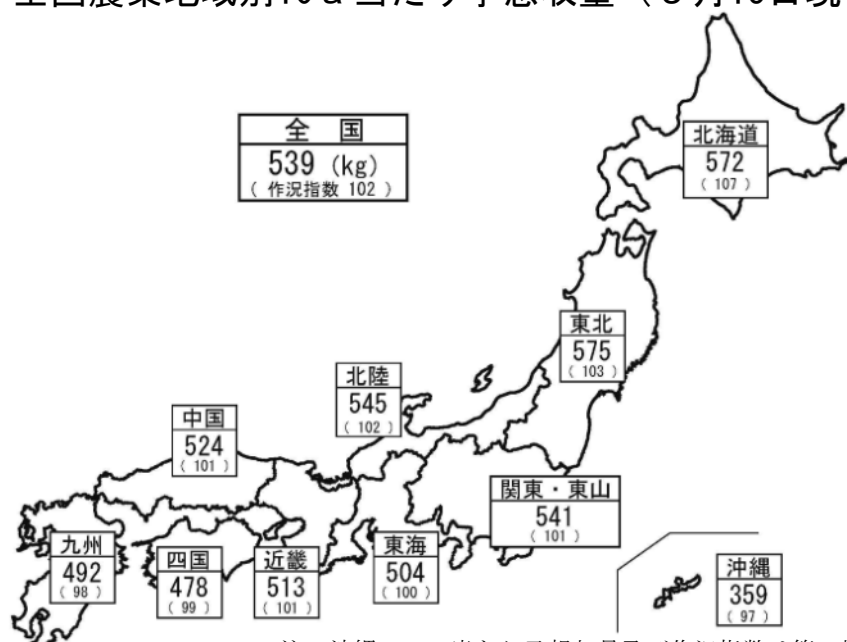
## 平成24年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況

－ 水稻の10 a 当たり予想収量は539kg（作況指数102）の見込み －

### 【調査結果の概要】

- 1 平成24年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は164万1,000haで、うち主食用作付見込面積は152万4,000haが見込まれる。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、分げつ期間の低温や日照不足の影響により全もみ数が平年を下回っている地域があるものの、全般的にはおおむね天候に恵まれ生育・登熟は順調に推移していることから、全国の10 a 当たり予想収量は539kg（作況指数102）が見込まれる。
- 3 主食用作付見込面積に10 a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は820万2,000 tが見込まれる。

図 全国農業地域別10 a 当たり予想収量（9月15日現在）



注：沖縄の10 a 当たり予想収量及び作況指数は第一期稲である。

- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。
- 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。
- この作柄は、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測を行ったものである。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

この統計調査結果の統計表は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」で御覧いただけます。  
【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

◎ 水稲作況調査結果の利活用

- ・ 「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標の策定及び達成状況の確認のための資料
- ・ 「農業災害補償法」（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

◎累年データ

水稲の年次別推移（全国）

	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10a当たり 収	収穫量 (子実用)	参 考			作況指数
	うち、子実用	10a当たり 収			主食用 作付面積	収穫量 (主食用)	10a当たり 平年収量	
			ha	ha				kg
昭和57年産	2,261,000	2,230,000	458	10,212,000	…	…	477	96
58	2,270,000	2,246,000	459	10,308,000	…	…	478	96
59	2,300,000	2,290,000	517	11,832,000	…	…	479	108
60	2,326,000	2,318,000	501	11,613,000	…	…	481	104
61	2,292,000	2,280,000	508	11,592,000	…	…	484	105
62	2,148,000	2,123,000	498	10,571,000	…	…	487	102
63	2,109,000	2,087,000	474	9,888,000	…	…	490	97
平成元	2,093,000	2,076,000	496	10,297,000	…	…	492	101
2	2,071,000	2,055,000	509	10,463,000	…	…	494	103
3	2,046,000	2,033,000	470	9,565,000	…	…	497	95
4	2,099,000	2,092,000	504	10,546,000	…	…	498	101
5	2,131,000	2,127,000	367	7,811,000	…	…	499	74
6	2,201,000	2,200,000	544	11,961,000	…	…	499	109
7	2,110,000	2,106,000	509	10,724,000	…	…	501	102
8	1,980,000	1,967,000	525	10,328,000	…	…	502	105
9	1,950,000	1,944,000	515	10,004,000	…	…	504	102
10	1,800,000	1,793,000	499	8,939,000	…	…	507	98
11	1,786,000	1,780,000	515	9,159,000	…	…	512	101
12	1,768,000	1,763,000	537	9,472,000	…	…	518	104
13	1,711,000	1,700,000	532	9,048,000	…	…	518	103
14	1,693,000	1,683,000	527	8,876,000	…	…	522	101
15	1,670,000	1,660,000	469	7,779,000	…	…	524	90
16	1,704,000	1,697,000	514	8,721,000	…	…	525	98
17	1,709,000	1,702,000	532	9,062,000	…	…	527	101
18	1,692,000	1,684,000	507	8,546,000	…	…	529	96
19	1,678,000	1,669,000	522	8,705,000	…	…	529	99
20	1,637,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	530	102
21	1,637,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	530	98
22	1,657,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	530	98
23	1,632,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	530	101

資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の作付面積を除いた面積である。

3 「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

## 【調査結果】

1 平成24年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は164万1,000haで、前年産に比べて9,000ha増加した。

なお、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた主食用作付見込面積は152万4,000haで、前年産に比べて2,000haの減少が見込まれる。

2 9月15日現在における水稻の地域別の作柄は、北海道では、田植期以降、天候に恵まれたことにより全もみ数がやや多く、登熟も順調に推移していることから、10a当たり予想収量は572kg（作況指数107）が見込まれる。

東北から中国では、田植期以降、一時的な低温や日照不足があったものの、総じておおむね天候に恵まれ、全もみ数はおおむね平年並みとなり、登熟も順調に推移していることから、東北は10a当たり予想収量575kg（同103）、北陸は545kg（同102）、関東・東山は541kg（同101）、東海は504kg（同100）、近畿は513kg（同101）、中国は524kg（同101）が見込まれる。

四国・九州では、梅雨明け以降おおむね天候に恵まれているものの、6月の日照不足等の影響により全もみ数が総じて平年を下回っていることから、四国は10a当たり予想収量478kg（同99）、九州は492kg（同98）と見込まれる。

この結果、全国の10a当たり予想収量は539kg（同102）が見込まれる。

3 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は820万2,000tが見込まれる。

表 平成24年産水稻の作付面積及び9月15日現在の10a当たり予想収量(作況指数)  
(全国農業地域別)

全国農業地域	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり 予想収量 ①	参 考			
	実数	前年産との比較			主食用作付 見込面積 ②	予想収穫量 (主食用) ③=①×②	10a当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤=①/④
		対差	対比					
	ha	ha	%	kg	ha	t	kg	
全 国	1,641,000	9,000	101	539	1,524,000	8,202,000	530	102
北 海 道	113,200	△ 800	99	572	108,700	621,800	535	107
東 北	413,800	7,600	102	575	374,500	2,155,000	559	103
北 陸	213,400	500	100	545	194,200	1,058,000	534	102
関 東・東 山	305,900	900	100	541	288,000	1,559,000	535	101
東 海	105,400	0	100	504	100,700	507,100	503	100
近 畿	110,700	0	100	513	107,400	551,600	509	101
中 国	118,200	△ 400	100	524	113,000	591,700	517	101
四 国	57,200	△ 300	99	478	55,500	265,300	484	99
九 州	201,700	1,100	101	492	181,100	889,500	503	98
沖 縄	603	△ 22	96	359	...	...	370	97

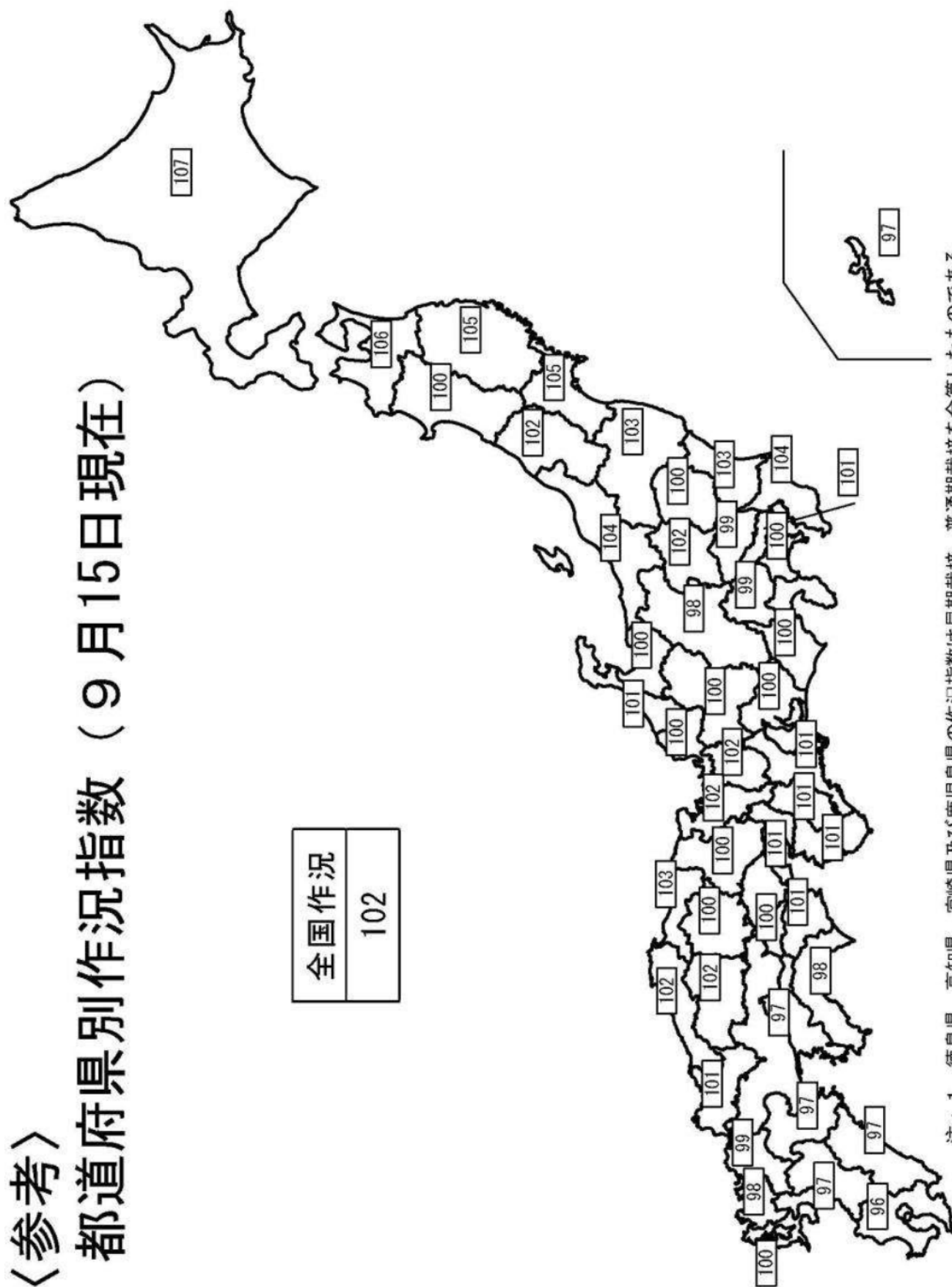
注：1 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。

2 主食用作付見込面積及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

3 沖縄は第一期稲である。なお、主食用作付見込面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

〈参考〉

# 都道府県別作況指数（9月15日現在）



# 【統計表】

## 統計表一覧

ページ

- 1 平成24年産水稻の作付面積、10 a 当たり予想収量及び作柄概況(9月15日現在)  
・・・・・・・・・・ 6
- 2 平成24年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合(9月15日現在)・・・・・・・・・・ 8

## 利用上の注意

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		7 桁以上 ( 100万 )	6 桁 ( 10万 )	5 桁 ( 万 )	4 桁 (1,000)	3 桁以下 ( 100 )
四捨五入する桁数 (下から)		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前 (原数)	1, 234, 567	123, 456	12, 345	1, 234	123
	四捨五入した後 (統計数値)	1, 235, 000	123, 500	12, 300	1, 230	123

- 2 表中に用いた記号は以下のとおりである。  
「-」：事実のないもの  
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの  
「△」：負数又は減少したもの

# 1 平成24年産水稻の作付面積、10a当たり予想収量及び作柄概況（9月15日現在）

全 国 都道府県	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり 予想収量 ①	参 考 主食用作付見込面積 ②
	実 数	前 年 産 と の 比 較			
		対 差	対 比		
	ha	ha	%	kg	ha
全 国 (1)	1,641,000	9,000	101	539	1,524,000
北 海 道 (2)	113,200	△ 800	99	572	108,700
青 森 (3)	51,000	300	101	619	45,200
岩 手 (4)	57,500	500	101	558	52,300
宮 城 (5)	73,800	4,200	106	558	69,300
秋 田 (6)	93,700	800	101	571	78,600
山 形 (7)	69,900	300	100	604	63,100
福 島 (8)	67,900	1,400	102	555	66,000
茨 城 (9)	77,700	0	100	540	74,000
栃 木 (10)	68,400	800	101	540	60,900
群 馬 (11)	18,700	0	100	506	16,800
埼 玉 (12)	36,000	△ 100	100	485	34,700
千 葉 (13)	62,000	200	100	552	59,500
東 京 (14)	161	△ 4	98	416	161
神 奈 川 (15)	3,220	0	100	495	3,210
新 潟 (16)	120,100	100	100	559	107,300
富 山 (17)	39,800	200	101	536	36,300
石 川 (18)	26,800	300	101	526	25,100
福 井 (19)	26,700	△ 100	100	519	25,400
山 梨 (20)	5,290	△ 10	100	542	5,240
長 野 (21)	34,500	0	100	608	33,600
岐 阜 (22)	25,600	100	100	487	24,400
静 岡 (23)	17,800	△ 100	99	519	17,000
愛 知 (24)	31,100	△ 100	100	505	29,600
三 重 (25)	30,900	0	100	507	29,700
滋 賀 (26)	33,700	300	101	529	32,200
京 都 (27)	15,700	0	100	519	15,400
大 阪 (28)	5,680	△ 60	99	499	5,670
兵 庫 (29)	38,800	0	100	502	37,500
奈 良 (30)	9,300	△ 80	99	518	9,200
和 歌 山 (31)	7,430	△ 160	98	499	7,430
鳥 取 (32)	14,700	0	100	527	13,900
島 根 (33)	20,000	0	100	517	18,900
岡 山 (34)	33,900	△ 400	99	528	32,100
広 島 (35)	26,200	0	100	535	25,500
山 口 (36)	23,300	△ 100	100	510	22,500
徳 島 (37)	13,600	△ 100	99	477	13,100
早期栽培 (38)	5,330	△ 10	100	464	…
普通栽培 (39)	8,310	△ 30	100	485	…
香 川 (40)	14,600	△ 200	99	499	14,400
愛 媛 (41)	15,500	0	100	483	15,200
高 知 (42)	13,400	△ 100	99	449	12,800
早期栽培 (43)	7,910	△ 20	100	469	…
普通栽培 (44)	5,540	△ 20	100	421	…
福 岡 (45)	40,300	0	100	493	37,900
佐 賀 (46)	27,500	200	101	514	26,400
長 崎 (47)	14,200	0	100	480	13,600
熊 本 (48)	44,400	400	101	502	37,500
大 分 (49)	26,000	200	101	489	23,500
宮 崎 (50)	23,800	300	101	481	18,900
早期栽培 (51)	9,250	180	102	471	…
普通栽培 (52)	14,500	100	101	489	…
鹿 児 島 (53)	25,600	0	100	464	23,200
早期栽培 (54)	6,500	80	101	425	…
普通栽培 (55)	19,100	△ 100	99	475	…
沖 縄 (56)	931	1	100	…	923
第一期稲 (57)	603	△ 22	96	359	…
第二期稲 (58)	328	23	108	…	…

注：1 沖縄県平均の10a当たり予想収量及び作況指数は第二期稲が出穂前であるため「…」で示しており、沖縄県計の予想収量（主食用）の算出には10a当たり年収量を用いた。

2 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。

予想収穫量(主食用) ③=①×②	10a当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤=①/④	平 年 比 較				
			穂数の多少	1 穂 当 た り も み 数 の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登熟の良否	
t	kg						
8,202,000	530	102	…	…	…	…	(1)
621,800	535	107	やや多い	やや多い	やや多い	平年並み	(2)
279,800	582	106	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良	(3)
291,800	533	105	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良	(4)
386,700	530	105	平年並み	やや多い	平年並み	やや良	(5)
448,800	573	100	平年並み	少ない	やや少ない	やや良	(6)
381,100	594	102	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良	(7)
366,300	537	103	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	(8)
399,600	522	103	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良	(9)
328,900	540	100	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良	(10)
85,000	494	102	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み	(11)
168,300	490	99	平年並み	やや少ない	平年並み	平年並み	(12)
328,400	533	104	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	(13)
670	411	101	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	(14)
15,900	493	100	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	(15)
599,800	539	104	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	(16)
194,600	537	100	やや少ない	やや少ない	やや少ない	やや良	(17)
132,000	519	101	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(18)
131,800	517	100	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(19)
28,400	547	99	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(20)
204,300	623	98	やや少ない	やや少ない	少ない	やや良	(21)
118,800	488	100	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(22)
88,200	521	100	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良	(23)
149,500	507	100	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	(24)
150,600	500	101	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(25)
170,300	518	102	平年並み	平年並み	平年並み	やや良	(26)
79,900	511	102	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	(27)
28,300	495	101	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	(28)
188,300	504	100	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	(29)
47,700	513	101	やや多い	やや少ない	やや多い	平年並み	(30)
37,100	495	101	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(31)
73,300	514	103	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	(32)
97,700	509	102	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	(33)
169,500	526	100	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良	(34)
136,400	523	102	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(35)
114,800	504	101	やや少ない	平年並み	平年並み	やや良	(36)
62,500	474	101	…	…	…	…	(37)
…	463	100	少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(38)
…	480	101	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良	(39)
71,900	499	100	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	(40)
73,400	498	97	少ない	平年並み	少ない	やや良	(41)
57,500	460	98	…	…	…	…	(42)
…	481	98	少ない	平年並み	少ない	やや良	(43)
…	430	98	少ない	やや多い	やや少ない	やや不良	(44)
186,800	499	99	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	(45)
135,700	527	98	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良	(46)
65,300	478	100	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	(47)
188,300	515	97	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	(48)
114,900	503	97	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	(49)
90,900	497	97	…	…	…	…	(50)
…	480	98	やや少ない	やや少ない	少ない	良	(51)
…	511	96	少ない	やや多い	少ない	やや良	(52)
107,600	483	96	…	…	…	…	(53)
…	443	96	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	(54)
…	495	96	少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	(55)
2,850	309	…	…	…	…	…	(56)
…	370	97	平年並み	平年並み	平年並み	やや良	(57)
…	…	…	…	…	…	…	(58)

3 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の早期・普通期別等の主食用作付見込面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

4 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を早期・普通期別等に行っており県平均を取りまとめているため、「…」で示している。

## 2 平成24年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合（9月15日現在）

都道府県	出穂期								刈取済面積割合
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較					
				対平年差	対前年差				
月 日	月 日	月 日						%	
北海道	7. 27	8. 1	8. 7	並み	並み			7	
青森	8. 5	8. 8	8. 13	1日遅	2日遅			0	
岩手	8. 4	8. 7	8. 14	並み	並み			3	
宮城	8. 4	8. 6	8. 13	1日早	1日早			1	
秋田	8. 2	8. 5	8. 9	並み	1日早			2	
山形	8. 4	8. 7	8. 14	1日早	1日早			2	
福島	8. 5	8. 11	8. 17	2日早	2日早			0	
茨城	7. 22	8. 3	8. 15	並み	2日早			69	
栃木	7. 29	8. 4	8. 19	1日早	2日早			26	
群馬	8. 9	8. 20	8. 29	2日早	1日早			2	
埼玉	7. 28	8. 13	8. 29	並み	1日遅			32	
千葉	7. 17	7. 27	8. 5	1日早	2日早			96	
東京	8. 10	8. 18	8. 27	2日遅	2日遅			1	
神奈川	8. 5	8. 14	8. 21	2日遅	1日遅			11	
新潟	7. 30	8. 7	8. 14	2日早	並み			40	
富山	7. 21	8. 3	8. 12	3日早	1日早			65	
石川	7. 20	7. 31	8. 12	4日早	1日早			69	
福井	7. 18	8. 3	8. 12	1日遅	1日遅			84	
山梨	8. 4	8. 12	8. 21	2日早	1日早			18	
長野	8. 1	8. 8	8. 16	2日早	1日早			15	
岐阜	7. 22	8. 20	9. 2	並み	1日早			26	
静岡	7. 25	8. 13	9. 1	1日遅	2日遅			37	
愛知	7. 27	8. 19	9. 3	1日遅	1日遅			28	
三重	7. 19	7. 28	8. 12	2日遅	2日遅			89	
滋賀	7. 31	8. 6	8. 18	2日遅	3日遅			48	
京都	7. 27	8. 5	8. 17	3日早	1日早			43	
大阪	8. 3	8. 23	8. 31	並み	並み			6	
兵庫	7. 30	8. 14	8. 29	1日遅	1日遅			35	
奈良	7. 31	8. 23	8. 29	並み	1日遅			12	
和歌山	7. 21	8. 9	8. 24	1日遅	1日遅			40	
鳥取	7. 27	8. 6	8. 18	3日早	3日早			33	
島根	7. 21	8. 3	8. 17	3日早	2日早			47	
岡山	7. 29	8. 18	9. 1	2日早	2日早			28	
広島	7. 25	8. 8	8. 21	2日早	3日早			39	
山口	7. 29	8. 8	8. 26	3日早	1日早			41	
徳島 早期栽培	7. 10	7. 18	7. 25	1日遅	1日遅			100	
普通栽培	7. 19	8. 1	8. 27	1日早	並み			66	
香川	7. 24	8. 21	9. 1	1日早	並み			36	
愛媛	7. 18	8. 14	9. 3	並み	並み			41	
高知 早期栽培	6. 29	7. 8	7. 17	並み	1日遅			100	
普通栽培	8. 14	8. 20	9. 3	1日早	1日早			1	
福岡	7. 21	8. 23	9. 5	1日早	1日早			17	
佐賀	7. 21	8. 28	9. 10	2日遅	1日遅			8	
長崎	7. 17	8. 26	9. 4	並み	1日早			14	
熊本	7. 11	8. 21	9. 7	並み	1日早			8	
大分	7. 30	8. 27	9. 2	2日遅	並み			4	
宮崎 早期栽培	6. 23	6. 27	7. 3	1日早	1日早			100	
普通栽培	8. 21	8. 26	9. 3	1日遅	並み			0	
鹿児島 早期栽培	6. 23	6. 29	7. 10	1日早	2日早			100	
普通栽培	8. 21	8. 27	9. 6	並み	1日早			-	
沖縄 第一期稲	5. 9	5. 27	6. 10	6日遅	2日早			100	

注：出穂期の始期とは出穂済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。



## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲作付面積調査及び水稲作柄概況調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

### 2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

### 3 調査対象数

#### (1) 作付面積調査

標本単位区：39,484単位区 巡回・見積り：1,720市町村

#### (2) 作柄概況調査

作況標本筆調査：10,200筆 作況基準筆調査：721筆 巡回・見積り：1,720市町村

### 4 調査事項

水稲の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

### 5 調査期日

#### (1) 作付面積調査：7月15日現在

#### (2) 作柄概況調査：9月15日現在

### 6 調査方法

#### (1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。

#### (2) 作柄概況調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

## 7 集計方法

### (1) 作付面積調査

対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。

### (2) 作柄概況調査

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

## 8 用語の解説

(1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指す。

(2) 「穂数の多少」は、1㎡当りに出穂した全ての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

(3) 「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についている全てのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

(4) 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりの全てのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

(5) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。

(6) 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1㎡当たり穂数等）の平年値との比較である。

多 少 ( 良 否 )	少ない (不良)	やや少ない (やや不良)	平年並み	やや多い (やや良)	多 い (良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

(7) 「作況指数」とは、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり予想収量の比率である。

(8) 「10a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10a 当たり収量をいう。

## 9 その他

(1) 本調査における作柄概況（9月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

(2) 滋賀県の一部において、除草剤の飛散により廃棄することが見込まれるものがあるが、それらの作付面積及び収穫量も本調査結果に含めている。

【ホームページ掲載案内】

○各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞大臣官房の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞生産局の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

— お問合せ先 —

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3681

(直通) 03-6744-2045

FAX： 03-5511-8771

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3682

(直通) 03-3502-5687

FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3589

(直通) 03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644